（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和2年7月31日※1
（前回公表年月日：令和元年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪アニメーションカレッジ専門学校	平成16年3月30日	井原延治	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 （電話）06-6369-5167
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人大阪創都学園	昭和63年3月30日	鈴木雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 （電話）06-6369-5164

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	声優学科（アニメ声優コース）	平成17年文部科学省 告示第177号	－

学科の目的	教育基本法、及び学校教育法に基づき、音声及び身体を使っての表現者として必要とされる技能と知識を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。
認定年月日	平成31年3月5日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1780	186時間	868時間	726	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	110	1人	9人	34人	43人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月21日～8月31日 ■冬　季：12月21日～1月9日 ■学年末：翌年3月31日	卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2／3以上の出席
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有	課外活動	■課外活動の種類 地域幼稚園、児童会館での「読み聞かせ」/地域ボランティア清掃活動 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成29年度卒業生） 声優・芸能プロダクション、アニメ業界など ■就職指導内容 オーディション対策講座、模擬オーディション、校内オーディション、就職対策講座など ■卒業者数　54　人 ■就職希望者数　28　人 ■就職者数　27　人 ■就職率　：　96.4　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　50　% ■その他 ・進学者数：　0人 （平成　31 年度卒業者に関する令和2年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和元年度卒業者に関する令和元 年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
話しことば検定3級	③	51人	47人
話しことば検定2級	③	3人	3人
アナウンス検定3級	③	2人	2人
アナウンス検定2級	③	2人	0人

中途退学の現状	■中途退学者　10 名　■中退率　8 % 平成31年4月1日時点において、在学者124名（平成31年4月1日入学者を含む） 令和2年3月31日時点において、在学者114名（令和2年年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 ・経済的理由　・進路変更の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施,個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	ホームページにおいて公開（URL: https://www.osaka-anime.jp/data/ ）

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
山川　直子	NPO法人　日本話しことば協会　理事長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	②
高垣　雅彦	日本橋まちづくり振興　株式会社　日本橋CGアニメ村事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
国本　英樹	株式会社　EARLY WING　声優・SNT大阪事務局担当	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
畑中　太一	株式会社　クリエイターズインパック　プロデューサー	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
小畠　昌男	株式会社　ラクジン　管理部　課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
酒井　勇二	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科　学科長
和田　伸一	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科　学科長
西嶋　信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科学科長
鈴木　祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科　学科長
西尾　拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（9月、3月）

（開催日時（実績））

第1回　令和元年11月26日　17：00～18：00

第2回　令和2年3 月27日　コロナウイルス感染拡大防止対策の為、予定を変更し　5月22日　15:00～16:00に実施

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

内向的、受動的な学生が増えてきていると思われるため、学校としては様々な行事や授業の中にも、挑戦できる仕掛けは作っている。学校自体が挑戦する試みを忘れることなく授業や行事を進め、その流れに学生を巻き込んでいけるよう工夫している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。
また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業課題（ラジオ番組制作、TV番組制作、レポート、ナレーションの技術や表現法とフリートーク）や業界研修を通じて目指す職業に必要な知識、技術を習得させる。また、学内実施のラジオCMコンテスト（12月開催） では、業界の方に直接指導及び作品審査や評価を頂き、成績評価をを行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
放送実習1，2	イベントMC・TVリポーター・ラジオパーソナリティの基礎を学びます。取材したことに基づいて原稿を作る技術やフリートーク力が身につくように学習します。	株式会社オフィスキイワード

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪アニメーションカレッジカレッジ専門学校　講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。
（2）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「第七回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和元年11月13日(水)　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名 教育機関向け「オンライン授業に向けたZoom活用法を知る」(連携企業：株式会社Too) 期間：令和2年年4月24日(金)　対象：教員9名 内容：ビデオ会議システムの活用法を体験しながらクラウドサービスを利用したオンライン授業の構築の仕方を学ぶ
（3）研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名 「第八回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和2年11月中旬予定　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「プレゼンテーションスキルセミナー」(連携企業：株式会社ベネッセiキャリア) 期間：令和3年3月23日(火)　対象：教員60名 内容：プレゼンテーションスキルを教育に活かす教員研修会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目標
（2）学校運営	学校運営
（3）教育活動	教育活動
（4）学修成果	学修成果
（5）学生支援	学生支援
（6）教育環境	教育環境
（7）学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	※該当なし

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価を基に、保護者との情報共有をより強化。教育に必要とされる実習施設や備品に関しては、新規導入を毎年検討している。企業に派遣するというかたちのインターンシップは、声優学科の場合、イベント主催側から依頼を受ける多会場開催のイベント司会進行、演者としての団体参加、アナウンス録音やナレーション等、いろんなものを積極的に受ける方針で学科が動いている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31 日現在

名　前	所　　属	任期	種別
瀧川　紀征	吹田商工会議所　副会頭	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	地域関係者
東　龍太郎	科学技術学園高等学校　通信課程大阪分室長	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	教育関係者
三原　淑治	エム・アイ・プランニング株式会社　代表取締役	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	業界関係者
北原　優希	株式会社キャラ　所属ナレーター・タレント	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）

URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

公表時期：10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
（3）教職員	講師、特別講師
（4）キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
（5）様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
（6）学生の生活支援	※該当なし
（7）学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	自己評価、学校関係者評価
（10）国際連携の状況	※該当なし
（11）その他	※該当なし

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））

URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　声優学科　アニメ声優コース）令和1年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			放送制作	1年次はラジオ番組を中心とした放送におけるナレーション、フリートーク、リポートやMCなど、様々な場面を想定したトークを学ぶ。2年次は学校HPに掲載されるラジオ番組の制作を中心に番組制作における、企画～収録など制作全般を学びます。	1・2年通年	248	16		○		○			○	○
○			演技	1年次は身体表現などの基礎を学び、台本を使用した演技で表現方法を基礎から学ぶ。授業の集大成として演劇発表を行う。2年次はキャスト設定や場面、背景などより細かな演技を学びます。2年校内オーディションでの演技、卒業公演での演技指導も行います。	1・2年通年	248	16		○		○			○	
○			業界概論	声優業界にとって必要な知識、ルールやマナーを現場目線で学びます。また、進路決定の流れ、オーディションに必要なプロフィール用紙、自己PRなど、進路に向けたレクチャーを行います。	1年通年	124	8	○			○		○		
○			声優基礎	声優にとって基本となる、無声化や鼻濁音、アクセントなどの基礎を学びます。また、イントネーションやチェンジオブペースなど読みに関する技術を習得します。	1年通年	62	4	○			○			○	
○			ボーカル	課題曲、自由曲を使用し、腹式呼吸、発声など声優としての基礎を歌を通じて学びます。クラスでの発表では、人前で歌うパフォーマンス力も身につけます。	1年通年	62	2			○	○			○	
○			ダンス	課題曲の振付を中心にダンスの基本となるエクササイズを学び、個々のダンスだけではなく、フォーメーションなどクラス全体でのパフォーマンスを学びます。また、学内・学外イベントに出演し、授業の成果を発表します。	1年通年	62	2			○	○			○	
○			キャリアデザイン	自分の体を知り、個々の目標設定した体づくりを学びます。また、オーディションを想定した衣装、メイク、プロフィール写真、台本の読み、自己PRなど、オーディションにおいて必要な知識、準備などのスキルアップを目指します。	1年通年	124	8		○		○			○	
	○		アナウンス	ニュース原稿や朗読作品などを中心にナレーション、アナウンスを学びます。 1年次は話ことば検定取得に向けた対策授業、2年次は、ナウンス検定取得の対策授業も行います。	1・2年通年	248	8			○	○			○	
	○		ボイスコントロール	録音～プレイバックで自分の声を知ること。マイクに声をのせることを実際に聴きながら学んでいきます。またスタジオでのマナーやルール、機材の知識を学びます。前期は、ナレーション・アナウンス台本を中心に録音し、後期はアニメーションのアフレコ収録を行います。	1年通年	62	2			○	○			○	
	○		声優実習	アニメーションのアフレコ、外画吹き替えを中心に、マイクワークや演技、表現などアフレコ工程全般を学びます。	2年通年	124	4			○	○			○	
	○		舞台制作	前期は夏の発表会、後期は卒業公演といった、発表する芝居の制作を中心に行います。キャスト決定や衣装、道具の準備、フライヤーなど集客に関する準備も行い、1つの作品をクラスで作りあげていく工程を学びます。	2年通年	124	8		○		○			○	
	○		アフレコ制作	アニメーション作品、洋画の吹き替えなど、声優としてのアフレコ収録を実践的に行い、作品クオリティにこだわった表現、技術を学びます。卒業制作としてグループでアニメーションのアフレコを行い、DVDに収録します。	2年通年	124	8		○		○			○	
○			学外実習	1年次に一回、2年次に1回、商業演劇を鑑賞することで、プロの役者の表現を学び、研究します。		12	0			○		○	○		
○			舞台発表	1年次の2月（進級前）、2年次の2月（卒業前）に寿演技実習、舞台制作の集大成としてクラス単位の舞台演劇の発表を行う。		76	2			○	○	○	○		
○			業界研究	2年次の秋に署名声優プロダクション、タレント事務所などをお招きし、声優学科全員のオーディションを実施。自己PR、演技台本、朗読台本などを用いて行います。本番までに特別講座やセミナーを実施。		16	0			○	○		○		
○			イベント制作	毎年秋に実施される学園祭を通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		64	2			○	○		○		
合計				科目				１７８０単位時間（９０単位）							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１６週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和2年7月31日※1
（前回公表年月日：令和元年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪アニメーションカレッジ専門学校	平成16年3月30日	井原延治	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 （電話）06-6369-5167
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人大阪創都学園	昭和63年3月30日	鈴木雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 （電話）06-6369-5164

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	声優学科（声優アクターズコース）	平成16年文部科学省 告示第177号	－

学科の目的	教育基本法、及び学校教育法に基づき、音声及び身体を使っての表現者として必要とされる技能と知識を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。
認定年月日	平成31年3月5日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1780	186時間	868時間	726	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	110人	1人	9人	34人	43人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月21日～8月31日 ■冬　季：12月21日～1月9日 ■学年末：翌年3月31日	卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2／3以上の出席
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有	課外活動	■課外活動の種類 地域幼稚園、児童会館での「読み聞かせ」/地域ボランティア清掃活動 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成29年度卒業生） 声優・芸能プロダクション、アニメ業界など ■就職指導内容 オーディション対策講座、模擬オーディション、校内オーディション、就職対策講座など ■卒業者数　54　人 ■就職希望者数　28　人 ■就職者数　27　人 ■就職率　：　96.4　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　50　% ■その他 ・進学者数：　0人 （平成　31 年度卒業者に関する令和2年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和元年度卒業者に関する令和元 年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
話しことば検定3級	③	15人	15人
話しことば検定2級	③	15人	8人
アナウンス検定3級	③	37人	32人
アナウンス検定2級	③	37人	15人

中途退学の現状	■中途退学者　10 名　■中退率　8 % 平成31年4月1日時点において、在学者124名（平成31年4月1日入学者を含む） 令和2年3月31日時点において、在学者114名（令和2年年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 ・経済的理由・進路変更の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施,個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	ホームページにおいて公開（URL: https://www.osaka-anime.jp/data/ ）

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
山川　直子	NPO法人　日本話しことば協会　理事長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	②
高垣　雅彦	日本橋まちづくり振興　株式会社　日本橋CGアニメ村事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
国本　英樹	株式会社　EARLY WING　声優・SNT大阪事務局担当	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
畑中　太一	株式会社　クリエイターズインパック　プロデューサー	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
小畠　昌男	株式会社　ラクジン　管理部　課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
酒井　勇二	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科学科長
和田　伸一	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科学科長
西嶋　信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科学科長
鈴木　祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科学科長
西尾　拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（9月、3月）

（開催日時（実績））

第1回　令和元年11月26日　17：00～18：00

第2回　令和2年3 月27日　コロナウイルス感染拡大防止対策の為、予定を変更し　5月22日　15:00～16:00に実施

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

内向的、受動的な学生が増えてきていると思われるため、学校としては様々な行事や授業の中にも、挑戦できる仕掛けは作っている。学校自体が挑戦する試みを忘れることなく授業や行事を進め、その流れに学生を巻き込んでいけるよう工夫している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。
また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業課題（ラジオ番組制作、TV番組制作、レポート、ナレーションの技術や表現法とフリートーク）や業界研修を通じて目指す職業に必要な知識、技術を習得させる。また、学内実施のラジオCMコンテスト（12月開催） では、業界の方に直接指導及び作品審査や評価を頂き、成績評価をを行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
放送実習1，2	イベントMC・TVリポーター・ラジオパーソナリティの基礎を学びます。取材したことに基づいて原稿を作る技術やフリートーク力が身につくように学習します。	株式会社オフィスキイワード

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪アニメーションカレッジカレッジ専門学校　講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。
（2）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「第七回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和元年11月13日(水)　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名 教育機関向け「オンライン授業に向けたZoom活用法を知る」(連携企業：株式会社Too) 期間：令和2年年4月24日(金)　対象：教員9名 内容：ビデオ会議システムの活用法を体験しながらクラウドサービスを利用したオンライン授業の構築の仕方を学ぶ
（3）研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「第八回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和2年11月中旬予定　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「プレゼンテーションスキルセミナー」(連携企業：株式会社ベネッセiキャリア) 期間：令和3年3月23日(火)　対象：教員60名 内容：プレゼンテーションスキルを教育に活かす教員研修会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目標
（2）学校運営	学校運営
（3）教育活動	教育活動
（4）学修成果	学修成果
（5）学生支援	学生支援
（6）教育環境	教育環境
（7）学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	※該当なし

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価を基に、保護者との情報共有をより強化。教育に必要とされる実習施設や備品に関しては、新規導入を毎年検討している。企業に派遣するというかたちのインターンシップは、声優学科の場合、イベント主催側から依頼を受ける多会場開催のイベント司会進行、演者としての団体参加、アナウンス録音やナレーション等、いろんなものを積極的に受ける方針で学科が動いている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31 日現在

名　前	所　　属	任期	種別
瀧川　紀征	吹田商工会議所　副会頭	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	地域関係者
東　龍太郎	科学技術学園高等学校　通信課程大阪分室長	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	教育関係者
三原　淑治	エム・アイ・プランニング株式会社　代表取締役	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	業界関係者
北原　優希	株式会社キャラ　所属ナレーター・タレント	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）

URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

公表時期：10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　))
URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　声優学科　声優アクターズコース）令和1年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			放送制作	1年次はラジオ番組を中心とした放送におけるナレーション、フリートーク、リポートやMCなど、様々な場面を想定したトークを学ぶ。2年次は学校HPに掲載されるラジオ番組の制作を中心に番組制作における、企画～収録など制作全般を学びます。	1・2年通年	248	16		○		○			○	○
○			演技	1年次は身体表現などの基礎を学び、台本を使用した演技で表現方法を基礎から学ぶ。授業の集大成として演劇発表を行う。2年次はキャスト設定や場面、背景などより細かな演技を学びます。2年校内オーディションでの演技、卒業公演での演技指導も行います。	1・2年通年	248	16		○		○			○	
○			業界概論	声優業界にとって必要な知識、ルールやマナーを現場目線で学びます。また、進路決定の流れ、オーディションに必要なプロフィール用紙、自己PRなど、進路に向けたレクチャーを行います。	1年通年	124	8	○			○		○		
○			声優基礎	声優にとって基本となる、無声化や鼻濁音、アクセントなどの基礎を学びます。また、イントネーションやチェンジオブペースなど読みに関する技術を習得します。	1年通年	62	4	○			○			○	
○			ボーカル	課題曲、自由曲を使用し、腹式呼吸、発声など声優としての基礎を歌を通じて学びます。クラスでの発表では、人前で歌うパフォーマンス力も身につけます。	1年通年	62	2			○	○			○	
○			ダンス	課題曲の振付を中心にダンスの基本となるエクササイズを学び、個々のダンスだけではなく、フォーメーションなどクラス全体でのパフォーマンスを学びます。また、学内・学外イベントに出演し、授業の成果を発表します。	1年通年	62	2			○	○			○	
○			キャリアデザイン	自分の体を知り、個々の目標設定した体づくりを学びます。また、オーディションを想定した衣装、メイク、プロフィール写真、台本の読み、自己PRなど、オーディションにおいて必要な知識、準備などのスキルアップを目指します。	1年通年	124	8		○		○			○	
	○		アナウンス	ニュース原稿や朗読作品などを中心にナレーション、アナウンスの基礎を学びます。学内行事である『リーディングライブ』では舞台での朗読劇を行います。 また、話ことば検定取得に向けた対策授業も行います。	1年通年	62	2				○			○	
	○		アクション	1年次はアクションにとって必要なルーティンと、パントマイム、課題のアクションを学び、イベントの出演も行う。2年次はアニカレ祭でのアクション劇の制作、ヒーローショーの制作、卒業公演での殺陣シーンなど、舞台で魅せるアクションを学びます。	1・2年通年	248	8				○			○	
	○		アフレコ実習	アニメーションのアフレコ、外画吹き替えを中心に、マイクワークや演技、表現などアフレコ工程全般を学びます。	2年通年	124	4				○			○	
	○		舞台制作	前期は夏の発表会、後期は卒業公演といった、発表する芝居の制作を中心に行います。キャスト決定や衣装、道具の準備、フライヤーなど集客に関する準備も行い、1つの作品をクラスで作りあげていく工程を学びます。	2年通年	124	8			○				○	
	○		映像制作	映画（ドラマ）は、総合芸術。持ちうる全ての英知を結集し、出演者の立場だけでなく、制作過程をチームワークを保ち、自らが行動することで完結させる。また、現在映像制作現場で求められている、「考えることのできる役者」の要請を目指し、発想法の訓練も行う。	2年通年	124	8			○				麻r	
○			学外実習	1年次に一回、2年次に1回、商業演劇を鑑賞することで、プロの役者の表現を学び、研究します。		12	0			○		○	○		
○			舞台発表	1年次の2月（進級前）、2年次の2月（卒業前）に寿演技実習、舞台制作の集大成としてクラス単位の舞台演劇の発表を行う。		76	2			○	○	○	○		
○			業界研究	2年次の秋に署名声優プロダクション、タレント事務所などをお招きし、声優学科全員のオーディションを実施。自己PR、演技台本、朗読台本などを用いて行います。本番までに特別講座やセミナーを実施。		16	0			○	○		○		
○			イベント制作	毎年秋に実施される学園祭を通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		64	2			○	○		○		
合計				科目	１７８０単位時間（９０単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１６週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和2年7月31日※1
（前回公表年月日：令和元年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪アニメーションカレッジ専門学校	平成16年3月30日	井原延治	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 （電話）06-6369-5167
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人大阪創都学園	昭和63年3月30日	鈴木雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 （電話）06-6369-5164

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	声優学科（アニソン声優コース）	平成17年文部科学省 告示第177号	－

学科の目的	教育基本法、及び学校教育法に基づき、音声及び身体を使っての表現者として必要とされる技能と知識を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。
認定年月日	平成31年3月5日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1780	186時間	868時間	726	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	110人	1人	9人	34人	43人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月21日～8月31日 ■冬　季：12月21日～1月9日 ■学年末：翌年3月31日	卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2／3以上の出席
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有	課外活動	■課外活動の種類 地域幼稚園、児童会館での「読み聞かせ」/地域ボランティア清掃活動 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成29年度卒業生） 声優・芸能プロダクション、アニメ業界など ■就職指導内容 オーディション対策講座、模擬オーディション、校内オーディション、就職対策講座など ■卒業者数　54　人 ■就職希望者数　28　人 ■就職者数　27　人 ■就職率　：　96.4　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　50　% ■その他 ・進学者数：　0人 （平成　31 年度卒業者に関する令和2年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和元年度卒業者に関する令和元 年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
話しことば検定3級	③	15人	15人
話しことば検定2級	③	15人	8人
アナウンス検定3級	③	37人	32人
アナウンス検定2級	③	37人	15人

中途退学の現状	■中途退学者　10 名　■中退率　8 % 平成31年4月1日時点において、在学者124名（平成31年4月1日入学者を含む） 令和2年3月31日時点において、在学者114名（令和2年年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 ・経済的理由　・進路変更の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施,個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	ホームページにおいて公開（URL: https://www.osaka-anime.jp/data/ ）

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
山川　直子	NPO法人　日本話しことば協会　理事長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	②
高垣　雅彦	日本橋まちづくり振興　株式会社　日本橋CGアニメ村事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
国本　英樹	株式会社　EARLY WING　声優・SNT大阪事務局担当	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
畑中　太一	株式会社　クリエイターズインパック　プロデューサー	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
小畠　昌男	株式会社　ラクジン　管理部　課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年）	③
酒井　勇二	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科　学科長
和田　伸一	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科　学科長
西嶋　信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科学科長
鈴木　祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科学科長
西尾　拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（9月、3月）

（開催日時（実績））

第1回　令和元年11月26日　17：00～18：00

第2回　令和2年3 月27日　コロナウイルス感染拡大防止対策の為、予定を変更し　5月22日　15:00～16:00に実施

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

内向的、受動的な学生が増えてきていると思われるため、学校としては様々な行事や授業の中にも、挑戦できる仕掛けは作っている。学校自体が挑戦する試みを忘れることなく授業や行事を進め、その流れに学生を巻き込んでいけるよう工夫している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業課題（ラジオ番組制作、TV番組制作、レポート、ナレーションの技術や表現法とフリートーク）や業界研修を通じて目指す職業に必要な知識、技術を習得させる。また、学内実施のラジオCMコンテスト（12月開催） では、業界の方に直接指導及び作品審査や評価を頂き、成績評価をを行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
放送実習1，2	イベントMC・TVリポーター・ラジオパーソナリティの基礎を学びます。取材したことに基づいて原稿を作る技術やフリートーク力が身につくように学習します。	株式会社オフィスキイワード

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪アニメーションカレッジカレッジ専門学校　講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。
（2）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「第七回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和元年11月13日(水)　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名 教育機関向け「オンライン授業に向けたZoom活用法を知る」(連携企業：株式会社Too) 期間：令和2年年4月24日(金)　対象：教員9名 内容：ビデオ会議システムの活用法を体験しながらクラウドサービスを利用したオンライン授業の構築の仕方を学ぶ
（3）研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「第八回賛助会員セミナー」(連携企業：一般社団法人日本声優事業社協議会) 期間：令和2年11月中旬予定　対象：教員1名 内容：音声業界の動向・最新事情についての研修会
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「プレゼンテーションスキルセミナー」(連携企業：株式会社ベネッセiキャリア) 期間：令和3年3月23日(火)　対象：教員60名 内容：プレゼンテーションスキルを教育に活かす教員研修会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目標
（2）学校運営	学校運営
（3）教育活動	教育活動
（4）学修成果	学修成果
（5）学生支援	学生支援
（6）教育環境	教育環境
（7）学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	※該当なし

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価を基に、保護者との情報共有をより強化。教育に必要とされる実習施設や備品に関しては、新規導入を毎年検討している。企業に派遣するというかたちのインターンシップは、声優学科の場合、イベント主催側から依頼を受ける多会場開催のイベント司会進行、演者としての団体参加、アナウンス録音やナレーション等、いろんなものを積極的に受ける方針で学科が動いている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31 日現在

名　前	所　　属	任期	種別
瀧川　紀征	吹田商工会議所　副会頭	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	地域関係者
東　龍太郎	科学技術学園高等学校　通信課程大阪分室長	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	教育関係者
三原　淑治	エム・アイ・プランニング株式会社　代表取締役	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	業界関係者
北原　優希	株式会社キャラ　所属ナレーター・タレント	平成31年4月1日～令和3年年3月31日（2年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）

URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

公表時期：10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
（3）教職員	講師、特別講師
（4）キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
（5）様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
（6）学生の生活支援	※該当なし
（7）学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	自己評価、学校関係者評価
（10）国際連携の状況	※該当なし
（11）その他	※該当なし

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））

URL: https://www.osaka-anime.jp/data/

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　声優学科　アニソン声優コース）令和1年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			放送制作	1年次はラジオ番組を中心とした放送におけるナレーション、フリートーク、リポートやMCなど、様々な場面を想定したトークを学ぶ。2年次は学校HPに掲載されるラジオ番組の制作を中心に番組制作における、企画～収録など制作全般を学びます。	1・2年通年	248	16		○		○			○	○
○			演技	1年次は身体表現などの基礎を学び、台本を使用した演技で表現方法を基礎から学ぶ。授業の集大成として演劇発表を行う。2年次はキャスト設定や場面、背景などより細かな演技を学びます。2年校内オーディションでの演技、卒業公演での演技指導も行います。	1・2年通年	248	16		○		○			○	
○			業界概論	声優業界にとって必要な知識、ルールやマナーを現場目線で学びます。また、進路決定の流れ、オーディションに必要なプロフィール用紙、自己PRなど、進路に向けたレクチャーを行います。	1年通年	124	8	○			○		○		
○			声優基礎	声優にとって基本となる、無声化や鼻濁音、アクセントなどの基礎を学びます。また、イントネーションやチェンジオブペースなど読みに関する技術を習得します。	1年通年	62	4	○			○			○	
○			ボーカル	課題曲、自由曲を使用し、腹式呼吸、発声など声優としての基礎を歌を通じて学びます。クラスでの発表では、人前で歌うパフォーマンス力も身につけます。	1年通年	62	2			○	○			○	
	○		アナウンス	ニュース原稿や朗読作品などを中心にナレーション、アナウンスを学びます。 1年次は話ことば検定取得に向けた対策授業、2年次は、ナウンス検定取得の対策授業も行います。	1・2年通年	124	4			○				○	
	○		ボーカルゼミ	ドラム・ベース・ギター・キーボードの楽器の基礎と演奏を理解し楽器の演奏経験を持ち、それらがボーカルにとって重要であることの理解、実際に歌の上達のためにその知識・経験を活かすことを目指します。後期はキーボード・ギターの弾き語りとバンド演奏を行います。	1年通年	124	8		○					○	
	○		ボーカル実習	中級程度のボーカルテクニックの指導を行いながら、前期は校内オーディション宣材録音のための準備練習。後期は卒業コンサートでの歌唱演目練習を主に行います。様々なイベントに向けての準備練習を行うことで、より即戦力になる実力をつけることを目標にしています。	2年通年	62	2			○				○	
	○		コーラス	コーラスの練習を行うことを通してボーカルのピッチに対する意識を高め歌唱力の上達をうながすこと、またそれと並行して卒業コンサート演目曲の主にハーモニーやコーラスのパートの練習を制作の授業と連動して行う。	2年通年	62	4		○					○	
	○		ダンス	1年次は体づくり、ストレッチを中心にリズムトレーニング、コンビネーションを学び、ライブでのパフォーマンスに役立てていきます。2年次は1年時に学んだダンスをもとに、より高度なダンス実技を学びます。卒業コンサートでのパフォーマンスに役立てます。	2年通年	62	2			○				○	
	○		アフレコ実習	アニメーションのアフレコ、外画吹き替えを中心に、マイクワークや演技、表現などアフレコ工程全般を学びます。	2年通年	124	4			○				○	
	○		アニソン制作	卒業コンサートに向けてのリハーサルとコンサート演目を収録したアルバムの制作を行います。1年生とのコラボレーション企画なども積極的に行い、２年間の集大成としてのステージを演者として務めることで全体的な流れを学ぶ貴重な機会となっています。	2年通年	124	8	○						○	
○			学外実習	1年次に一回、2年次に1回、商業演劇を鑑賞することで、プロの役者の表現を学び、研究します。		12	0			○		○	○		
○			舞台発表	1年次の2月（進級前）、2年次の2月（卒業前）に寿演技実習、舞台制作の集大成としてクラス単位の舞台演劇の発表を行う。		76	2			○	○	○	○		
○			業界研究	2年次の秋に署名声優プロダクション、タレント事務所などをお招きし、声優学科全員のオーディションを実施。自己PR、演技台本、朗読台本などを用いて行います。本番までに特別講座やセミナーを実施。		16	0			○	○		○		
○			イベント制作	毎年秋に実施される学園祭を通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		64	2			○	○		○		
合計				科目	１７８０単位時間（９２単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	16週/15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。